

(様式1)

令和4年度学校パワーアップ事業全体構想

学校名

荒川区立第四中学校

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容

<p>確かな学力の定着・向上を図るとともに、豊かな人間性を育成する。</p> <p>1 学び方指導と家庭学習による学力の定着・向上 2 ICT機器の活用等による学習指導の充実 3 学校図書館活用等による学習意欲の向上 4 外部人材等の活用による、教育活動の充実 5 文化的活動や奉仕活動、職業体験等の充実による、社会性・豊かな人間性の育成</p>		
学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<p>学びの“場”を保障する学校づくりで、確かな学力を</p> <p>学び方指導と家庭学習の定着 ・学習の仕方指導の充実 ・家庭学習ノートの活用</p> <p>指導力向上と指導方法の改善 ・ICTによる指導力向上 ・図書館活用による授業改善</p> <p>数学の基礎・基本の定着を図る指導の充実 ・数学専門指導員の導入・活用 ・数学検定の奨励</p>	<p>関わりを大切にする学校づくりで、社会の一員としての力を</p> <p>人間力を育てる指導の充実 ・人間関係づくり支援の充実 ・道徳授業の改善 ・特別活動の活性化 ・特別支援教育等の研修の充実</p> <p>未来を生きる教育の充実 ・専門家講師による特別講義</p> <p>国際コミュニケーション能力の育成 ・英語学習指導員の導入・活用 ・スピーキングテストへの対応</p>	<p>文化的で教養のある学校づくりで、豊かな人間性を</p> <p>文化的活動の充実 ・伝統文化理解教育の推進 ・文化系部活動の支援</p> <p>キャリア教育の推進 ・マナー講座等取組の充実</p> <p>奉仕の精神の醸成 ・JRC・防災部等貢献活動</p> <p>環境美化活動の充実 ・地域と連携した環境美化</p>

令和3年度 全国・荒川区学力調査に関する結果(平均正答率：%)
 区学力調査(全学年)

	1年					2年				
	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
自校	70.0	50.7	64.4	49.0	79.5	66.5	56.1	56.3	44.4	55.0
区	71.7	51.4	70.0	54.6	82.5	67.7	54.5	60.9	48.7	57.1
区との比較	1.7	0.7	5.6	5.6	3.0	1.2	1.6	4.6	4.3	2.1
	3年									
	国語	社会	数学	理科	英語					
自校	65.4	53.6	48.9	52.1	58.3					
区	67.7	50.5	52.2	51.2	62.1					
区との比較	2.3	3.1	3.3	0.9	3.8					

全国学力・学習状況調査(3年)

	国語	数学
自校	64	56
全国(公立)	64.6	57.2
全国(公立)との比較	0.6	1.2

学校の結果は整数で示されています。

令和4年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立第四中学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
<p>学び方指導と 学習習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の仕方指導の充実 ・家庭学習ノートの活用 	<p>【内容】 昨年度の区調査で「家での週あたり勉強日数」の肯定的回答は、2学年55%、1学年約30%と（昨年度の2学年60%前半、1学年69.6%）、喫緊の課題である。1・2年生に「家庭学習ノート」の活用強化とともに、ドリルコンテンツ等を活用した補充学習・家庭学習の充実などで、生徒の学習習慣の定着と学ぶ意欲を育成する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区調査「家での週あたり勉強日数」肯定的回答60%以上
<p>指導力向上と 指導方法の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用による指導力向上 ・図書館活用による授業改善 	<p>【内容】 ICT機器活用による学習活動の効率化、学校図書館活用による読解力向上など、この二年間、指導力の向上とその改善を図ってきた。これを学校全体で継続的に取り組むことで、教育の質を確保する。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価(生徒)肯定的回答 9「情報教育」85%以上 ・同 10「学校図書館の活用」85%以上
<p>数学の基礎・基本の 定着を図る指導の 充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学専門指導員の導入・活用 ・数学検定の奨励 	<p>【内容】 区学力調査における平均正答率で、数学が他の教科に比べ区との差が大きく、5ポイント下回っている。数学科専門の学習補助員を導入、習熟の程度に応じた指導により、遅れやつまずきのある生徒の基礎・基本の定着、意欲を引き出す支援の充実を図る。</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価(生徒)肯定的回答 24「数学指導の充実」75%以上